

<速報>

* 8月1日、シリア北部でロシア軍のMi 8輸送ヘリコプターが地上からの攻撃で撃墜され、ロシア軍兵士と乗員計5人が死亡した。

* 8月1日、リビア暫定政府からの要請を受けて米軍が中部シルトで「イスラム国」の拠点空爆、戦車や車両を破壊した。

* 8月1日、ロシア国防省がシリア北西部イドリア県でロシア軍のミル8ヘリコプターが地对空ミサイルで撃墜されたと発表、乗員3人と将校2人の計5人全員が死亡した。

* 8月3日、北朝鮮が半島西岸の黄海南道殷栗郡付近から弾道ミサイル2発を発射。うち1発は朝鮮半島を横断し、秋田県・男鹿半島の西方約250キロの日本海上（日本の排他的経済水域内）に落下。

* 8月3日、米国司法省が「イスラム国」を支援しようとした容疑で首都ワシントンの交通公社の警察官ニコラス・ヤング容疑者（36）を逮捕した。同容疑者は7月に「イスラム国」の関係者を装っていたFBIの捜査官に「イスラム国」が通信や勧誘のために使うモバイルコードを245ドル分送った疑いがある。

* 8月4日、エジプト軍がシナイ半島北部のアリーシュ近郊を空爆し、「イスラム国」系武装組織「イスラム国シナイ州」のアンサリ指導者のほか、戦闘員45人以上を殺害したと発表した。

* 8月5日、インドネシア警察がシンガポールの新都心マリーナ・ベイ地区でロケット弾で攻撃する計画があったとしてインドネシア人の男6人を逮捕した。「イスラム国」の戦闘員から活動資金を受け取り準備を進めていた疑いがある。

* 8月5日、インド北東部アッサム州コクラジャルで武装集団が市場で銃を乱射し、市民14人が死亡、多数が負傷した。チベット・ビルマ語系少数民族ポドの分離独立を目指す「ポドランド国民民主戦線（NDPB）」による犯行と見られる。

* 8月6日、ウクライナ東部ルガンスクで親ロシア派の一つ「ルガンスク人民共和国」最高幹部プロトニツキー氏が乗った車の近くで爆発が発生。同氏は負傷した。

* 8月6日、シリア国内のクルド人民兵を主体とする「シリア民主軍（SDF）」が「イスラム国」が占拠していた同国北部の要衝マンビジをほぼ制圧した。マンビジはシリアとイラクにまたがる地域を支配する「イスラム国」が首都と位置づけるラッカへの補給ルートに位置している。

* 8月6日、イエメンでハディ暫定政権軍が首都サヌアの東部で新たな武力攻撃を開始。一方、国連の仲介によりクウェートで行われていた和平協議は合意に達することなく同日終了した。

* 8月7日、西アフリカ・ギニア湾の島国サントメ・プリンシペで大統領選挙の決選投票が行われ、8日に発表された暫定結果でエバリスト・カルバリョ元首相（74）の勝利が確実となった。

* 8月7日、米国が国連安保理に南スーダンに4000人規模の強力な部隊を派遣して首

都ジュバの平和を確保し、暫定政府の協力が得られない場合は武器禁輸を科すことを提案した。

* 8月8日、パキスタン西部クエッタの暴飲で爆発があり、少なくとも69人が死亡、100人以上が負傷した。「パキスタン・タンリバーン運動 (TTP)」の分派組織である「ジャマード・アフラル」が犯行声明を発出。

* 8月8日 (日本)、天皇がお言葉をテレビで公表。「現行の皇室制度に具体的に触れることは控え」ながらも生前退位への意向を表明した。

* 8月9日、トルコのエルドアン大統領がロシアを訪問して、昨年11月にトルコ軍機がロシア軍機を撃墜したことで両国が断絶状態になってから初めてプーチン大統領と会談し、欧米への牽制のため関係回復に努めた。

* 8月9日、南スーダン南部イエイ近郊でキール大統領に忠誠を誓う部隊とマシャール前大統領派の武装勢力による衝突が発生。

* 8月9日、サウジアラビア主導の連合軍がイスラム教シーア派武装組織「フーシ派」が実効支配するイエメンの首都サヌアに5か月ぶりに空爆を実行し、少なくとも14人が死亡した。

* 8月10日、ロシア連邦保安局 (FSB) がロシアが編入したウクライナ南部クリミア半島でウクライナの特務機関員と銃撃戦があり、ロシア側の2人が死亡したと発表した。ロシア大統領はウクライナの特務部隊が「テロ攻撃」を試みたとして、ウクライナ側との対話を中断する考えを示した。これに対し、ウクライナのポロシェンコ大統領はクリミア攻撃を全面否定して激しく反発。

* 8月10日、リビアの暫定政権を支援する部隊が中部シルトで「イスラム国」が拠点としていた国際会議場を制圧した。シルトの当局者は「シルトも70%が解放された」と述べた。

* 8月10日、トルコのシュルナク、マルディン、ディヤルパナルの3県で相次いで軍や警察を狙ったと見られる爆発があり、13人が死亡、数十人が負傷した。トルコ当局はクルド人武装組織PKKによる犯行としている。

* 8月11日夜、タイ中部のリゾート地ホアヒンで爆弾2発が連続して爆発し、タイ人女性1人が死亡、外国人を含む21人が負傷した。タイではほかにも爆弾事件が続発し、計4人が死亡し、30人以上が負傷した。

* 8月11日、米国大統領選挙の民主党候補であるクリントン前国務長官が中西部ミシガン州デトロイトで講演し、TTPについて「現在も反対だが、選挙後も大統領になっても反対する」と表明した。

* 8月11日、ベネズエラのマドゥロ大統領とコロンビアがサントス大統領がベネズエラ東部のプエルトオルダスで会談し、昨年8月から続いてきた両国間の国境封鎖を段階的に解除することで合意した。

* 8月11日、カナダ連邦警察が最大都市トロント南西にあるストラスロイで10日爆弾でテロを企てた男の自宅を急襲し、男は死亡したと発表した。男は「イスラム国」を支持し

カナダの都市部でテロを実効する直前だったと見られる。

* 8月12日、シリアのクルド人部sプ勢力を中心とする「シリア民主軍(SDF)」が「イスラム国」が支配していた同国北部マンビジュを制圧したと発表した。

* 8月12日、米国国防総省が「イスラム国」のアフغانستانやパキスタンでの活動を統括する幹部のハフィズ・サイード・カーン司令官をアフغانستان東部ナンガルハル州で同司令官を標的にした空爆によって殺害したと発表した。

* 8月13日、トルコ政府が7月のクーデター未遂の首謀者と主張している米国在住の誌スラム教指導者ギュレン師がフランス『ルモンド』紙に寄稿し「独立した国際的な調査をおこなってもらいたい」と訴えた。

* 8月13日、米国ニューヨーク市クイーンズ地区のモスク付近でイスラム教の指導者ら2人が銃撃されて死亡する事件が発生した。市警はヒスパニック系の男(35)を殺人容疑で逮捕した。

* 8月13日夜、コンゴ東部のベニ近郊で武装集団が町を襲撃し、少なくとも民間人42人が殺害された。

* 8月13~14日、米国ウィスコンシン州ミルウォーキーで警察官が逃走中の黒人男性(23)を射殺したことに対する抗議活動が発生した。一部が暴徒化し、ガソリンスタンドや銀行、店舗、警察車両に放火した。

* 8月14日、ナイジェリアの「ボコ・ハラム」が2014年に拉致した女子生徒を移したとする新たなビデオを公開し、政府側に拘束されている同組織の戦闘員と生徒の交換を要求した。

* 8月14日、シリア北西部イドリブ県の対トルコ国境地帯で反体制派の武装集団に対する自爆攻撃があり、「イスラム国」がインターネット上に「自爆ベルトを起爆させ、約50人を殺害した」と主張した。反体制派のシャーム軍団とネールッディーン・ザンキー運動を批判。

* 8月15日(日本)、安倍首相が政府主催の全国戦没者追悼式で式辞を述べ、昨年同様に不戦の決意を表明したものの、4年続けてアジア諸国への加害と反省に触れなかった。一方、天皇は「深い反省」と表現。

* 8月15日、トルコ南東部ディヤルバクルで警察関連施設で爆発があり、警官2人と子ども1人が死亡、警官と民間人の計25人が負傷した。

* 8月15日、米国政府がキューバのグアンタナモ海軍基地に拘束しているテロ容疑者15人(イエメン人12人、アフغانستان人3人)をアラブ首長国連邦(UAB)に移送したと発表した。これにより同基地の収容者数は61人に減った。

* 8月15日、イエメン北部ハッジヤ州で「国境なき医師団(MSF)」が支援する病院がサウジアラビア主導の連合軍に空爆され、11人が死亡、19人が負傷した。

* 8月16日、ロシア国防省がイラン国内北西部のハマダン基地から出撃したロシア軍機(爆撃機22M3ろSu34)がシリア領内の北部アレppo、イドリブ、北東部デリゾール

で「イスラム国」の拠点を空爆したと発表した。

* 8月17日、韓国統一省報道官が北朝鮮のデ・ヨン駐英大使館公使が最近夫人や子どもとともに韓国に亡命したと発表した。

* 8月17日、ドイツ内務省がトルコについて「トルコは中近東のイスラム過激派に活動拠点を提供している」と記した非公開文書が明らかになり、トルコ政府が声明で抗議した。

* 8月17日、モザンビークで政府と反政府勢力「モザンビーク民族抵抗運動（RENAMO）」が地方分権で合意に達した。昨年12月にRENAMOは国内11州・市のうち6州の支配を宣言、政府軍との戦闘が続いてきた。

* 8月17日、ブラジルのルセフ大統領がツイッターに動画を投稿し、「弾劾裁判に出廷する」と表明した。

* 8月17日深夜から18日、トルコの治安当局を狙った爆弾攻撃が連続して発生、警官・兵士6人が死亡し200人以上が負傷した。当局はいずれもPKKによる犯行との見方を示している

* 8月18~19日、シリア北東部ハサカのクルド人居住区でアサド政権側による空爆が行われ、民間人数十人が死亡、数千人規模の市民が避難を余儀なくされた。

* 8月19日、ドイツのデメジュール内務省がイスラム教徒の女性が用いる「ブルカ」や「ニカプ」の公共の場での使用を禁止する方針を明らかにした。

* 8月19日、フィリピンの反政府武装組織「新人民軍（NPA）」がノルウェーの首都オスロで22日から行われる和平交渉を前に、21日から1週間の一方的停戦を宣言した。

* 8月19日、スペインの与党・国民党が中道の新興政党シウダダノスが求めている汚職対策案の受け入れを決定、合意文書に署名した。これを受け、シウダダノスの素が今月末から下院で実施されるラホイ首相の信任投票で賛成票を投じる可能性が出た。

* 8月19日、国際原子力機関（IAEA）が北朝鮮の核問題に関する報告書を公表し、人工衛星画像などの分析などの分析により、今年の第1四半期以降、北朝鮮が寧辺の核燃料再処理施設を稼働させたことを示す動きが確認されたと明らかにした。

* 8月20日朝、ナイジェリア北東部チボク近郊の村が「ボコ・ハラム」に襲われ、住民10人が死亡、女性と子ども合わせて13人が拉致された。

* 8月20日、トルコ国会が2010年のパレスチナ自治区ガザ支援船襲撃で悪化していたイスラエルとの関係正常化を承認した。

* 8月20日夜、トルコ南部ガジアンテップ県で屋外で行われていた結婚式で爆発が起き、少なくとも50人が死亡、94人が負傷した。21日、エルドアン大統領は「イスラム国による犯行と指摘。

* 8月21日、イラク南部のナシリヤの刑務所で「イスラム国」の前身組織による大規模な虐殺に関与した罪で36人に対して絞首刑が執行された。

* 8月21日、ソマリアの中部ガルカイヨで自動車を使った爆弾テロが発生し、20人以上が死亡した。

* 8月22日。イタリアのレンツィ首相、ドイツのメルケル首相、フランスのオランド大統領がイタリア南部ベントチーネ島沖の空母上で会談し、欧州で相次いだテロなど共通の課題に対処していくため、イギリスを除くEC加盟国27ヶ国の結束を維持していく方針で一致した。

* 8月22日、リビア暫定議会在統一政府に対する不信任を議決した。サラジ首相率いる首都トリポリの統一政府に対し、暫定議会は北東部トブルクを拠点とする。

* 8月22日、トルコ軍がシリアのクルド人組織「クルド統一連合党（PKD）」の勢力圏にある北部マンビジュを越境砲撃した。同地は「イスラム国」が拠点としていたが、今月中旬にPYDを主力とする部隊が制圧した。

* 8月23日、イラクのクルド自治政府のバリザニ議長がトルコのエルドアン大統領、ユルドゥルム首相とアンカラで会談し、「イスラム国」やPKKとの戦いについて協議した。

* 8月24日、トルコ軍の戦車、少なくとも30両がトルコ・シリア国境を越え、シリア北部の「イスラム国」の支配下にあるジュラプルス付近に侵攻し、砲撃した。トルコ空軍機も空爆した。米国主導の有志連合も参加。

* 8月24日、米国のバイデン副大統領がトルコのユルドゥルム首相と会談し、トルコが米国に引き渡しを求めるイスラム教指導者ギュレン師の処遇について協議した。

* 8月24日、トルコのエルドアン大統領が同国訪問中のバイデン米国副大統領との会談後に記者会見し、「イスラム国」が同日シリア北部ジャラプルスから撤退し、反アサド武装勢力が制圧したと明らかにした。

* 8月24日、和平交渉をキューバの首都ハバナで続けていたコロンビア政府とFARCが和平実現の最終合意に達したと発表した。半世紀以上続いた内戦を終わらせる歴史的合意。25日、サントス大統領が軍に対してFARCに対するあらゆる攻撃行為を停止するよう命令した。

* 8月24日、北朝鮮が潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）を発射した。26日、国連安保理は7月から相次いだ弾道ミサイル発射は2006年以降の一連の安保理決議に対する「深刻な違反」だとして、「強く非難する」とした報道機関向け声明を発表した。

* 8月24日夜、アフガニスタンの首都カブールで米国が支援する私立大学が武装グループが襲撃し、大学の守衛ら少なくとも7人が死亡、30人以上が負傷した。

* 8月25日、シリアの少数民族クルド人の部隊が北部の要衝マンビジュから撤退を開始した。クルド人の勢力拡大を嫌うトルコの意向を受けた米国が撤退を要請した。

* 8月25日、シリアの反体制派がアサド政権側と首都ダマスカス郊外のダラヤから撤退する合意に達し、26日残っていた住民約4000人が大型バスなどに分乗し、ダマスカス郊外に国連が用意した仮設住宅に移送された。

* 8月26日、トルコ南東部ジズレの警察署近くでトラックによる自動車爆弾の爆発があり警察官11人が死亡、民間人3人と警察官75人が負傷した。同日、PKKが犯行声明を發出。

* 8月26日、フィリピン政府は22日からノルウェーのオスロで5年ぶりに再開していた和平協議で合意に達し、武装組織・新人民軍(NPA)などで構成する民族民主戦線(NDF)との間に無期限停戦を盛り込んだ共同声明を発表した。

* 8月26日、フランスの行政裁判の最高機関である国務院が、同国南部ビルヌーブブルベ市がイスラム教徒女性向けの全身を覆う水着「ブルキニ」着用の禁止令を出した問題で、禁止令を無効とする判決を下した。

* 8月26日、ボリビアのロドルフォ・イリャネ内務次官(56)が鉱山労働組合のデモ隊に拘束され、撲殺された。鉱山労働者のデモでは警察との衝突で労組メンバー3人が死亡したほか、警官が人質として拘束される事態が生じていた。

* 8月27日、バングラデシュ警察当局はレストラン襲撃事件の首謀者の一人として追っていたタミーム・チョードリ容疑者ら3人を銃撃戦の末に殺害したと発表した。警察は同容疑者は「バングラデシュ・ムジャヒディン(JMB)」から分派した「新JMB」のリーダー格で襲撃事件を計画した一人とみていた。

* 8月27日、シリア北部でトルコ軍戦車がクルド人部隊の人民防衛隊(JPG)のロケット攻撃を受け、トルコ兵1人が死亡、3人が負傷した。24日に開始されたトルコ軍のシリア領内侵攻後初めての死者。

* 8月28日、ナイジェリアのブハリ大統領が「ボコ・ハラム」によって2014年に同国北部チボクで誘拐された少女約200人の解放に向けて同組織が選ぶNGOを仲介しあらゆる形態の教義を行う用意があることを表明した。

* 8月28日、イランの国営テレビが中部フォルドゥの核施設防衛のためロシア製の最新鋭地对空ミサイル「S300」が配備されたと報道した。

* 8月28日、トルコ軍がシリア北部への空爆でクルド人戦闘員25人を殺害した。また同日トルコが支援するシリアの武装勢力が北部ジャラプルス南方で人民防衛隊(YPG)の同盟勢力が支配する地域にある2つの村を制圧、村民35人が殺害された。

* 8月28日、コロンビアのFARCのロンドニョ最高司令官(通称ティモチェンコ)がすべての戦闘員に恒久的な停戦を命令すると明らかにした。29日に冷戦入り。10月2日に国民投票が行われる。

* 8月28日、スペインで国民党(PP)とシウダダノスが合意に達し、ラホイ暫定首相の首相選出に向けて協力することで合意した。

* 8月29日、粉飾会計に関わったとされるブラジルのルセフ大統領を被告とした弾劾裁判で、同大統領が上院本会議に出廷し、意見陳述を行い、無罪を主張した。

* 8月29日、イエメン南部のアデンで自爆テロとみられる爆発があり、50人以上が死亡した。「イスラム国」が犯行声明を發出。

* 8月29日、トルコのチャプシオール外相が「クルド人民兵組織の人民防衛隊(YPG)がユーフラテス川東方に移動するまで標的にする」と発言した。

* 8月30日、キルギスの首都ビシケクにある中国大使館に爆発を積んだ車両が突入し、運

転手が死亡、大使館のキルギス人職員 3 人が負傷した。

* 8 月 3 0 日、米軍当局者がシリア北部で衝突するトルコ軍とクルド人勢力が互いへの攻撃を数日間停止することで合意したと発表した。

* 8 月 3 0 日、「イスラム国」系のメディア「アマク通信」が「イスラム国」広報担当の幹部アドナニ容疑者が、シリア北部アレッポで殺害されたと報じた。同日米国国防総省のクック報道官も声明で米軍がアドナニ容疑者を標的に空爆したことを明らかにした。

* 8 月 3 1 日、韓国統一省報道官が記者会見で北朝鮮の金勇進副首相が最近処刑されたと発表した。また、朝鮮労働党の金英哲統一戦線部長が「革命化教育」と呼ばれる思想教育を受け、宣伝煽動部の崔輝第 1 副部長も現在、同じ教育を受けていると報じた。

* 8 月 3 1 日、ブラジルのルセフ大統領に対する弾劾裁判で上院議員による採決が行われ、3分の2以上（賛成 6 1 人、反対 2 0 人）が有罪を支持し、ルセフ氏の罷免が決まった。

* 8 月 3 1 日、米国とキューバを結ぶ定期航空便が 1 9 6 1 年の「両国の国交断絶依頼半世紀ぶりに運航を再開した。

* 8 月 3 1 日、ラホイ首相続投の是非を問う信任投票が行われ、反対多数（賛成 1 7 0、反対 1 8 0）で否決された。